

作成日：2026年1月26日 第2版

## DPC がん診療データベースを用いた高齢がん患者の化学療法の実態と緩和医療の質に関する

### 探索的研究 1. 研究の対象

院内がん登録参加施設のなかで、国立がん研究センターで既に実施中の「がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究（課題番号：2013-081）」への協力施設において、2018～2022年に進行胃がん（ステージ4）の診断を受けて、診療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

本研究では、進行がんの患者さんが診断されて診療を受けた病院とその病院の診療情報を調査することによって、院内がん登録参加病院における胃がん化学療法の実態を把握することを目的としています。特に、高齢がん患者さんに注目して、非高齢者と行われている治療（選択された薬）に違いがあるのか、高齢者の中でも化学療法を行う人と行わない人にはどのような違いがあるのか等を調査いたします。「がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究（課題番号：2013-081）」で構築されたデータベースを二次利用して行う研究です。

研究実施期間：研究許可日から2030年3月31日

### 3. 研究に用いる情報の種類

性別、生年月日、入退院年月日、診療明細（処置・投薬等の内容や日付）、全身状態（ADLスコア）、入院時併存症、院内がん登録の情報等

### 4. 外部への試料・情報の提供

データは、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

本研究で用いた試料・情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（試料・情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

・国立がん研究センターが参加する研究の公開情報については国立がん研究センターの公式ホームページより確認することができます。

[https://www.ncc.go.jp/jp/about/research\\_promotion/study/zisshi.html](https://www.ncc.go.jp/jp/about/research_promotion/study/zisshi.html)

## 5. 研究組織・研究責任者

研究代表者：

国立がん研究センターがん対策研究所 がん政策評価研究部 高橋 理智（研究責任者）

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センターがん対策研究所

がん政策評価研究部 高橋理智

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 TEL：03-3547-5201（PHS 2680）